

取扱説明書 SK-09 1ポートType-Cソケット (PD20W)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をお読みください。また本書は大切に保管し、必要な時にお読みください。

【警告】 必ずお読みください。

- 本製品の分解・改造は絶対におやめください。分解・改造された製品についての保証・責任は当社では一切負いかねます。
- 運転者による走行中の本製品の使用や、スマートフォンなどの注視は大変危険ですので絶対におやめください。
- 本製品を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。火災・感電の恐れがあります(防水仕様ではありません)。
- 安全の為、エアバッグの動作を妨げる場所・運転の妨げになる場所・突起物として危険が生じる場所・強い衝撃が加わる場所には取り付けないでください。
- アクセサリソケット(以下「ソケット」)にホコリ・ゴミが入ったまま使用しないでください。火災の原因となります。
- 本製品使用時に接続機器の異常・発煙・異臭・ショートなど異常が発生した際は直ちに使用を中止してください。※特に、本製品・端末の出力ポート内にホコリ・ゴミが付着したまま使用しないでください。
- 本製品における接続機器の破損・故障・データ破損・消失・電子マネーの不具合に関して当社は一切責任を負いません。
- USBケーブルの先端がソケット内部に入らないようにご注意ください。ショート・火災の原因となります。

【注意】 必ずお読みください。

- 本製品はDC12V/24V車に対応していますが、ソケットに30V以上の電圧が流れる車種には使用しないでください。また始動時に大きな電圧が流れる車種に関してもご注意ください。
- 外国車や国産車の一部によってはソケットの形状が合わない場合がありますのでご注意ください。
※適用ソケット径φ20.8~22mm
- エンジンを切ってもソケットに電流が流れる車種はバッテリーが上がる恐れがあります。抜き忘れにご注意ください。
- 振動などにより本製品が脱落する恐れがあります。定期的に本製品がしっかり奥までソケットに入っているか確認してください。
※差し込みが浅く、プラス(+)端子の接触が甘い状態で使用し続けると、端子部分がスパークし故障の原因となります。
- スマートフォンのOSなど、ソフトウェアアップデートにより充電ができなくなる恐れがあります。予めご了承ください。
- 異常を感じたら、使用をおやめください。

ご使用上の注意

- 本製品に接続ケーブルは付属しておりません。接続機器に合ったケーブルをご用意ください。
※Apple製品の充電は純正または認証品をご使用ください。
※PD対応機種を充電する際は、PD対応ケーブルをご使用ください。十分な効果が得られません。
※一部の機種でデータ通信用のケーブルを使用すると充電できない場合があります。
- 本製品の定格出力は24Wです。それよりも高い出力を必要とする機器に使用した場合、状態(電池残量)によっては充電ができない場合があります。
- 最大出力での充電後は本体の金属端子部が高温になっていますので火傷にご注意ください。
- 大きな負荷をかけた場合、本製品の保護回路が働き、充電出力が自動的に出力停止することがあります(通電ランプは点灯したまま)。その際は充電を中止しケーブルを抜いてください。しばらくすると自動的に復帰いたします。
- 本製品にUSBハブなどのPC周辺機器を絶対に接続しないでください。
- 端末ごとに要する充電時間は使用するケーブル・接続機器の状態により異なります。
- 本製品の連続使用は2時間を目安にしてください。接続機器側の電池の寿命低下につながる場合があります。

裏面も必ずお読みください。

本製品はPD (パワーデリバリー) 規格、最大20W出力のType-Cポートが1コついた仕様です。

※高速充電は、PD 規格に対応した端末を充電した場合にはなりません。

※PD 対応のケーブルをご使用ください。

※接続機器の電池残量、使用状況により充電時間は変動します。

- お車のエンジンをかけた状態で、本製品のプラグ部分をお車のアクセサリソケットに差し込みます。(青い通電ランプが点灯することを確認してください)
 - ※接触不良を防ぐため、お車のソケット内に汚れや異物がないか確認してください。
 - ※ソケットに差し込んだ状態で、エンジンを始動すると始動時の電圧変化により正常に動作しない場合があります。
 - ※使用中に青い通電ランプが消灯したときは、接触不良などが考えられます。一度本製品を抜いてソケット内に汚れ・ホコリが無いかを確認し、再度差し込んでください。
- 接続端末に適したケーブルを本製品のType-Cポートに差し込み、端末を接続してください。
- 本製品を引き抜くときはソケット部分を指で押さえながら抜いてください(ソケットごと抜けてしまう恐れがあります)。
- 本製品を回転させる際は、ソケットから一度抜いて向きを変え、再度差し込んでください。

